

甲状腺って、喉のところであって、すごく大切なホルモンを出しています。

甲状腺ホルモンが 少ないと 流産 しやすくなります。

甲状腺ホルモンが 多くても 少なくても 生理が乱れたり来なくなったりします。

はじめは甲状腺刺激ホルモン TSH を測ります。(本当に働く甲状腺ホルモンをきちんと測るのは難しいので、刺激ホルモンを測ります。)

刺激ホルモン (TSH) が高いことは甲状腺ホルモンが少ないことを意味します。 ←1

刺激ホルモン (TSH) が低いことは甲状腺ホルモンが多いことを意味します。 ←2

1) 甲状腺の調子が悪い原因としてよくあるのが 橋本病 です。

甲状腺を攻撃してしまう自己抗体が原因とされていて、
(甲状腺ホルモンの FT4 と) 抗サイログロブリン抗体 を調べます。

2) 甲状腺ホルモンが高い原因としてよくあるのが バセドウ病 です。

甲状腺刺激ホルモンとして働く自己抗体が原因とされていて、
(甲状腺ホルモンの FT4 と) 抗 TSH レセプター抗体 を調べます。

甲状腺ホルモンは大事なホルモンなので、望ましい値にコントロールすることが大切です。

専門 (内分泌内科) の先生にみていただきましょう。